

令和5年度岡山県農林水産総合センター水産研究所試験研究課題評価結果票

<事前評価>

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当 4：実施することが適当
 3：計画等を改善して実施することが適当 2：実施の必要性が低い
 1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

番 号	R5年度-事前1						
課題名	豊かできれいな海の実現に向けた栄養塩量の算出						
課題の概要	一定の精度を有する栄養塩の動態モデルを作成し、安定的なノリ養殖等の維持に向けた栄養塩対策の実施場所、規模、時期を明らかにする。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	3人	2人	1人	人	人	4.3
	有効性	1人	4人	1人	人	人	4.0
	効率性・妥当性	1人	2人	3人	人	人	3.7
	総合評価	1人	5人	人	人	人	4.2
助言・指摘事項等	<p>1. ノリの色落ちや魚介類の減少など、水産業は非常に厳しい状況にある中、豊かな海の実現に向けた調査研究は、待ったなしの状況である。得られた成果を単年度毎にでも発表し、豊かな海づくりに繋がる施策や提言に速やかに活用していくことが必要と考える。</p> <p>2. 腰の重い環境部局への説明資料となるだけでなく、広く県民へ栄養塩不足の現状と対策の必要性をアピールする材料としても活用できることを期待する。</p> <p>3. 今後はより広範囲に協力機関を探しだし、他部局とも連携して海域での3μMを実現して欲しい。</p> <p>4. ノリの色落ち対策につながる成果が得られることが期待される。海域の栄養塩については、河川水の影響が大きいと考えられるので、河川由来の栄養塩の動態についても十分に考慮する必要がある。</p> <p>5. 児島湾内の下水処理施設のみではなく、陸域で実施可能な対応についても、施策の立案においては併せて検討する必要がある。</p> <p>6. 栄養塩の問題は全国的な課題でもあり、他県の状況を把握し、共同で進めるなど広い範囲で課題解決に取り組むことが求められる。</p>						

番号	R5年度-事前2						
課題名	マダコ種苗生産の効率化と中間育成技術の開発						
課題の概要	ガザミ幼生の代替餌料による飼育技術を開発し、種苗生産の効率化を図るとともに、生残率を向上する中間育成技術を開発する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	4人	1人	人	人	4.0
	有効性	人	4人	2人	人	人	3.7
	効率性・妥当性	1人	3人	2人	人	人	3.8
	総合評価	1人	5人	人	人	人	4.2
助言・指摘事項等	<p>1. 種苗放流による資源量の底上げに期待する。</p> <p>2. 隣県との入り会い状況などもあり、マダコの種苗放流は漁業調整上も有意義なことだと思われるので、早急な技術の確立を期待します。</p> <p>3. 生産できた場合の種苗の中間育成や放流方法など、課題が多いので、将来を見据えて進めて頂きたい。</p> <p>4. アルテミアの栄養強化試験等は、タコの種苗生産時期でなくとも実施できるし、栄養強化あるいは低下の度合いも水産研究所で測定できるのではないか。</p> <p>5. 事前にアイデアを試して十分な準備をしたうえで種苗生産試験に臨んで欲しい。</p> <p>6. 下津井の特産復活への期待は大きい。他地域に先駆けた安定生産につながることを望む。</p> <p>7. あらゆる方面と連携をとりながらすすめていただければと思う。</p>						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。